

海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	同済大学 (国名: 中国)	
参加プログラム名	同済大学日本語学科サマースクール	
プログラム期間	2017 年 9 月 3 日 ~ 2017 年 9 月 16 日	
学部/学府・年次	文学部	4 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 無 「有」の場合、免除額を記入してください()	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (42,980 円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) 10 万円(授業料、交通費、観光費含む)	
このプログラムを選んだ理由	中国文化体験ができ、2 週間という短期間で充実した内容のプログラムだと思った。また、日本語学科が主催するため、語学についての心配がなく、HSK などの検定を受けていなくても気軽に申し込めたため。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4 月から)	

1. 参加プログラムと大学について	
<p>プログラム(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>○語学授業 同済大学の学生による中国語の授業。挨拶や食べ物など基本的な単語や、買い物などの場面での会話表現を学んだ。学生の日本語が堪能なため、非常に基礎的な中国語の授業だった。</p> <p>○観光 午後は同済大学生の案内で上海観光をすることが多かった。場所は、豫園、田子坊、南京東路、新天地など。また、カラオケ採点に行ったり、中国茶を飲んだり、中国人の生活を体験することも。</p> <p>○太極拳 3時間ほど、外部の講師による太極拳・武術の授業があった。</p> <p>○その他 日本大学の中国ゼミと合流し、蘇州、朱家角の観光、日系企業の工場見学をすることができた。日系企業の工場見学では、現地で働く日本人の社員からお話を聞くことができ、海外で働く遣り甲斐や苦勞を感じられた。</p>
<p>主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>日本語学科の学生が常にサポートしてくれたため、生活に関して困ることはなかった。何か困ったことがあった際は、「we chat」で気軽に連絡を取ることができ、休日に関しても、ディズニーランドの入場券や杭州に行くための高鉄のチケットなどの手配までしてくれた。</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>同済大学の方が大変親身になって接してくれたため、何の不安も感じずに充実した2週間を過ごすことができた。</p> <p>ただ、日本大学の学生と同じプログラムであったため、クラス内での語学力に差があり、語学の授業に関しては少し物足りなかった。</p> <p>全体としては、文化体験を通して、現代中国への関心が更に高まった。また、最終日に日本語学科の一年生と交流したときに、中国語や英語で思うようにコミュニケーションが取れず、語学力不足を痛感した。ネイティブに通じるような発音を身につけられていないことに気付けたことは大きな学びだった。今後は「話す」ことを意識して、語学の勉強に力を入れ、自分の力で海外の方とのコミュニケーションを取れるようにしたい。</p>

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>語学力の向上はあまり望めないため、語学力をあげたいならば他のプログラムの方が良いと思う。また、自由行動が多いため、上海で行きたいところを予め調べ、能動的に動けるようにした方が良い。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>食事に関しては、日本人の舌に合うものが多く、大変満足の行くものだった。(辛いものが苦手な人は少し苦しいかもしれない) 移動手段は地下鉄を使っていたが、本数が多く、値段も安くて便利だった。大学側から交通カードを貸してもらえたため、更に便利だった。 治安も良く、夜歩き回っていても、特に危険を感じることはなかった。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>約3万円 食費…平日の夕食と土日の食事のみ。 (平日の朝食、昼食は大学側が負担) 交通費…約100元(50元は大学側が負担) 観光費…自由行動のときのみ。</p>

日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	Wi-Fi。(LINE、Google、YouTube が使いたい場合は、VPNを用意した方がよい。)
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	ウェットティッシュやポケットティッシュを持ってくること。 (日本のように、飲食店でお手拭きが出てくるところは少なく、トイレにもトイレットペーパーがないことが多いため。)
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	二週間の短期間であるため、特になし。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類(○印をつける)	・大学の寮 ・ <input checked="" type="checkbox"/> ホテル・その他()
立地	大学から徒歩 15 分。
伝えたい地域情報、生活情報	ホテルには洗濯機がなく、近くにコインランドリーもないため、手洗いで洗濯をする用意をした方がよい。
5. その他の特記事項	